

キロくらゐまで大きいのが落ちて来る。これの構造はだいたい中が青燐とガソリンと護膜、それが適當に組合はされて、それに爆薬が仕掛けてあつて、それが落ちてくると屋根を貫いて爆發する、場合によつては階を貫いて階下に落ちる場合もあります。これが爆發すると二階にはいつてをその中の練りものが飛散して天井でも壁でもカーテンでも机でも椅子でも、何んにもくつついて、そのくつついた場所から火を發する。一發の焼夷彈で數十ヶ所から火を發することがある。さういふ場合、バケツで水をかけてゐては間に合はない。手押ポンプで自由自在に活動することが有效だと思ひます。青燐焼夷彈はいつぱん消してもまた燃え上る厄介な代物でありまして、消えを跡は直に鋭利なものでこそ取つて處分することが必要であります。青燐が皮膚に附くと非常に有害だし、^指の先についたために腕を切らなければならぬといふやうなことがあります。非常に恐れられてゐます。青燐焼夷彈が使用され始めてから被害が大きくなつたのであります。

以前はエントロン焼夷彈が多かつたので、巡回を怠つて気がつかなくなつたとか、屋根裏に落ちてゐたために目も言ひなかつたといふやうなことで手遅れになる場合が少くなつたのであります。最近では極端な場合は二軒でも六

軒でもそのひとかたまりがぶつつつけて燃える——その好い例は昨年八月に約六百機でベルリンを空襲した際であります。その時に日本人がよく住む地下鐵の三つの驛を運ねたくらゐの街で、幅十五間くらゐの廣い道路のその兩側の家が全部焼けてしまつた。これが延焼したのではなく、一軒一軒別に焼夷彈が落ちて来る。日本が當時數名厄介になつてをつた家では——從來の爆撃では日本人たちが勇敢に活躍してをるのでありますが——その時は先づ最初に焼夷彈が斜に降つて来て、いきなり地下室に飛び込んで来て、地下室が見える火の海となつたので、勇敢に地下室を消火してをるうちに、こんどはエレベーターの部屋にすぼつとはいつた。恰度煙突の作用でもつて非常にくさえた。その後でまた別の個所に落ちて、われ／＼日本人も非常に活躍したのぶきいままに、地下室から屋上まですつかり焼けてしまつて、建つてをる骨組みが壊れなかつたのであります。これは最近の焼夷彈の威力を物語るものであります。さういふ場合に手押ポンプがあると非常に有効な處置が出来ると思ひます。

そのほか炭酸ガスを燃えてをる場所にどんだんぶつかける、これは恐らく御計畫になつてをることと思ひますが、これも相當効果があるやうであります。